

会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回戸田市環境審議会（書面会議）
開催日時	資料送付日：令和2年12月17日（木） 意見書提出期間：令和2年12月21日（月）から令和3年1月7日（木）
開催場所	（書面会議のため該当なし）
議 題	（1）第2回戸田市環境審議会（書面会議）等からの意見と回答について て （2）戸田市環境基本計画素案について
会議結果	以下議事録のとおり

(会議の経過)

議題1：第2回戸田市環境審議会（書面会議）等からの意見と回答について

	意見
1	4つの基本目標におけるSDGsとの関連をアイコン付きで示したことは、視覚的にインパクトがあり課題も捉えやすく好感が持てる。SDGsは今やビジネスや学校教育でも取り入れられ、メディアでも多く取り上げられている。どんどん活用して市の進取の精神をPRするとよいと思う。
2	建設的な意見が出され、それに対する対応方針も素晴らしいと思う。
3	戸田市での事業者の「地球温暖化対策」が良く解った。

議題2：戸田市環境基本計画素案について

	意見
1	【P. 8】 気候変動対策の「埼玉県では」を次のとおり修正が必要である。 2030（令和12）年 → 2030（令和12） <u>年度</u>
2	【P. 10】 持続可能な開発目標のステークホルダーを次のように修正することを提案する。 ステークホルダー（政府、企業、NGO、有識者等） → ステークホルダー（国、地方自治体、企業、NGO/NPO、教育・研究機関等）
3	【P. 18】 ボートコースの写真が不鮮明なのでもう少しわかりやすいものに、差し替え希望を希望する。視力の弱い方にはグレーに見えると思われる。
4	【P. 21、P. 34】 その他の気候変動適応 形式的に「その他」を加えた感があり、具体的な含意が分からない。例えば「最新情報の提供等を含む、その他の気候変動適応」としたほうが良いと思う。
5	【P. 27】 「家庭における緑化の促進」の説明文で、次のとおり修正が必要である。 育てることについて → 育てること <u>について</u>
6	【P. 29】 環境と経済の両立に関するコラムについて、この観点が手薄な印象なので、前回は指摘させていただいたが、グリーンエコノミーやESG投資などいろいろあるため、掲載を期待している。
7	【P. 31】 図について、プロジェクト、基本目標、将来像の順序を反転して、一番上に基本目標があったほうが良いように思う。
8	【P. 32、P. 33】 表について、P. 36などの「関連する主な基本施策」とのつながりをわかりやすくするために、次のとおり区分してはいかかがか。 関連する主な基本施策→● 関連する基本施策 →○
9	【P. 34】 プロジェクトの柱との関係を示すと説明の意味がさらに分かりやすくなると思うため、次のとおり文言の追加を提案する。 プロジェクトの柱①②→緩和策 プロジェクトの柱③ →適応策
10	【P. 36】 「気候変動適応センターを位置づけ」は何に位置付けたかを記載したほうが良いと思う。

11	<p>【P. 36、P. 46、P. 56、P. 62】 市、市民、事業者ごとに整理する提案の方法は大変わかりやすいと思う。しかしながら、「市民、事業者の役割」「市民の役割」「事業者の役割」という表現が強すぎるように感じる。例えば「市民、事業者に期待される取組」や「市民、事業者に協力をお願いしたい取組」と表現を変更するのはいかがか。</p>
12	<p>【P. 36、P. 46、P. 56、P. 62】 市の主な取組の【新規】の意味を記載していただいた方がいいと思う。(前回計画の施策に対しての新規ということか。)</p>
13	<p>【P. 36、P. 38】 市の取組の「新技術開発支援事業」と脱炭素・気候変動適応プロジェクトの「事業者等への聞き取りの実施【新規】」は関係しているのか。新規事業とのことだが、聞き取りを行うのは環境課か。または ESCO 事業のようなものを想定されているのか。</p>
14	<p>【P. 38、P. 48、P. 58、P. 64】 主な取組の紹介が唐突で孤立している感じがするため、P. 36 などの前ページの表の「市の主な取組」に、詳細を説明している旨の記載をしたほうが良いと思う。例えば、次のとおり注記するのはいかがか。</p> <p>(例)</p> <p>※文末に【解説】と記載している施策は、次ページに詳細を記載しています。</p> <p>◆環境配慮型システム設置費等補助金制度を拡充します【解説】。</p>
15	<p>【P. 39、P. 49、P. 59、P. 65】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの数値目標を設定していただいている点が大変よいと思う。 ・「プロジェクトの推進度合いを管理する代表的な指標」は、他に指標がなければ「代表的な」は不要だと思う。
16	<p>【P. 40 などのコラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのコラムを設定していただいていることは、市民に関心をもっていただくためにも大変よいと思う。 ・それぞれのコラムが孤立しており、全体における位置づけが見えにくい点が残念である。そこで、p. 36、46、56、62 の「市の取り組みと・・・」の表の「市の取組」の末尾に、(コラム①参照) などを入れたほうがよいと思う。 <p>(例)</p> <p>◆国民運動「COOL CHOICE」を推進します(コラム① ② ③参照)。</p>
17	<p>【P. 45】 次のとおり修正することを提案する。</p> <p>環境・循環型社会・生物多様性白書 → 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書 (書名なので改変または省略しない方がよいと思う。)</p>
18	<p>【P. 46】 市の取り組みで市民向けのお知らせ啓発をされると思いますが、戸田は外国人方も高いので、外国語での表示も併せて出すようにしてほしい。特にゴミ出しのルールは伝わっていないと思われ、ホームページでも並べてお知らせしたほうがよいと思う。</p>
19	<p>【P. 47、P. 48】 埼玉県産の農産物を推奨する「地産地消」「フードマイレージ」の取組はとてもよいと思うが、具体的な実践例はあるか。</p>
20	<p>【P. 53】 食品ロスのコラムの文章について、次のとおり修正が必要である。</p> <p>トラック (10 トン車) トラック → トラック (10 トン車)</p>
21	<p>【P. 64】 「環境活動の企画・開催」に関する説明について、次のとおり修正することを提案する。</p> <p>お気軽にご参加ください → 多くの方々にご参加いただいています</p>

	(ここは「ください」のテイストではないと思う)
22	【P. 64】 「公民連携への取組」について説明文が、他と比べてフォントのポイントが大きいため修正が必要である。
23	【P. 67】 環境について学ぼうを読んで思ったのが、彩湖自然学習センターの取り組みが好きだが、車でないと場所が遠くなかなか行きづらいということである。いまの子育て世代の30～40代では車の保有率は低いと思われる。イベント、講座の時や、土日のみだけでも臨時で彩湖自然学習センターへのバスがあるとよいと思う(駅から、市役所からなど)。
24	【P. 68】 「市民団体やボランティアの環境活動に参加してみませんか」のコラム中の誤字について、次のとおり修正が必要である。 実行員会 → 実行委員会
25	【P. 72】 ページ中央付近の説明文の文言について、次のとおり修正が必要である。 2030(令和12年)における → 2030(令和12)年度における
26	計画の基本的な考え方、背景、方向、重点プロジェクトの展開、地球温暖化対策実行計画とも解かりやすく、具体的な施策等が示されて素晴らしいと思う。ぜひ、基本計画どおりに進められるように努力したい。
27	自然の中で生きていくときに、他の生物が生きにくいことは人間にもふりかかってくるので、自然を大切にすることが大事だと思う。
28	大量生産によって安価で手にすることや、便利に慣れすぎて大事に使うことが後回しになったと思うので、資源を残すためにも環境を良くするためにも大切に使用したいと思う。
29	地球温暖化対策実行計画の中の対象とする温室効果ガスについて、一般家庭や事業者で取扱い品目が多い冷媒に対しての着目が少ないと感じた。R22をはじめとするHCFCが2020年全廃、代替フロンHFCの2036年までに生産量85%削減といった世間の動きに対して、戸田市の取組方針の中に触れたほうがよいと思う。
30	近年喫緊の環境問題や環境政策に広く目配りされ、素晴らしい環境基本計画になっていると思う。特に、国内外の環境問題の動向を踏まえて市独自の基本目標・施策を策定し、4つの重点プロジェクトにまとめて市と市民と事業者の役割を明確にした点、非常に分かりやすい構成になっていると思う。さらに「廃プラスチック問題」と「食品ロス問題」の取組を市の主要な施策として取り上げている点も、とてもよいと思う。
31	計画案については、それがまとまったら可能な範囲でいいので、計画のあらましをポンチ絵でまとめる工夫をしていただきたいと思う。 資料の中にもP.31に重点プロジェクトについてのポンチ絵のようなものがあるが、内容が大部になると市民にはその趣旨が伝わりにくいという問題点があるように思う。 市民一般といっても、様々な世代や職業等々により関心が違うので難しいとは思いますが、ここは市民に広く、政策の趣旨とその実行案が分りやすく伝えられればよいと思う。 きわめて身近な環境問題であるため、広く市民を巻き込むことが重要である。 検討はなされているとは思いますが、このような視点も加味していただければ幸いです。
32	前のバージョンより読みやすくなり、コラム(未定版のところが多いですが)等も入り、全体としては、良くなっていると思う。

その他（議題1と2以外での意見等）

	意見
1	来年度制定予定の「地球温暖化対策推進法の改正案」を鑑みると、戸田市としても、国全体として2050年温室効果ガス排出実質ゼロを目指す一環として、現在よりもさらに積極的な施策・制度、二酸化炭素排出の削減目標を決定し、独自の再エネ事業（例えば水素ステーション設置）を立ち上げる意思を示す（勿論、実施開始することも）必要があると考える。
2	日本でも「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことが宣言されたことで、とくに基本目標1【気候変動分野】の施策は今後、実効性と迅速性が求められることになるだろうと思われる。 新型コロナウイルス感染症の拡大が終息しても、デジタル革命とリモート社会のもとで、とくに基本目標4【環境学習分野】の施策は今後、市民の活動や協力のあり方の点で見直しを迫られるだろうと思われる。
3	コロナ禍で環境についての啓発の機会が減りましたが新たにどのようなところがあるのかお聞きしたい。ユーチューブ、SNSを使った配信なのか。すでにやっていることで子供達に描いてもらう環境のイラスト展の回数を増やすなど、イベントができないこの時期に、一気に人が集まらない展示のやり方が有効かと思う。
4	脱炭素としてクリーンエネルギーや再生可能エネルギー等が考えられているが、水素を使った発電に使う水素はどうやって生産するのか。
5	プラゴミを減らすために容器の再利用がもっと必要ではないかと思う。
6	最近スーパーではパック詰めのパックをはずし、設置ビニール袋に詰め、パックはゴミ箱に捨てる人が多いという。スーパーでは衛生面で困っているという。中高年に多いそうだが、分別が面倒だからとのことらしい。環境は考えるが、自己中心的になるのはどうしてだろうかと感じる。
7	市役所に設置している宅配ロッカーは、宅配の再配達問題に対し、効果のある取組だと感じる。可能であれば、数を増やしていただきたい。また、市民への周知を図ることで再配達による温室効果ガスの削減やドライバーの負荷軽減、道路交通の安全向上にも繋がるものと思う。また、新規・既存の住宅に対し、宅配ロッカーの設置について助成を行うことも検討されてはいかがか。 このような、利便性や経済性の向上とセットになる取組を増やすことが温室効果ガス削減の目標達成に不可欠だと思う。
8	自動車から徒歩・自転車へのシフトを促すのであれば、同時にマナー・法令の順守を呼びかけることが必要であると思う。 交通事故が発生した場合には渋滞を引き起こし、環境にも影響を与えることになる。また、渋滞の原因は事故以外にも路上駐車、信号無視などもあり、マナー・法令の順守が環境負荷低減につながる。
9	既に実施している省エネ製品に対する助成を、更に進めていただけると目標達成に近づけると思う。
10	環境問題は、取組の検討や効果測定などは専門家レベルで実施したとしても、市民への呼びかけや取組内容については、極力わかりやすい形で伝えるべきではないかと思う。
11	個人的にも、ごみゼロ運動の周知に努めていきたいと思う。